

# 近年の免疫アレルギー領域の研究状況

【年度】	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	
	基本法		基本指針					見直し		
主にアレルギー関係領域	免疫・アレルギー疾患対策に必要なとされる大規模疫学調査に関する研究(平成17年から)									
	アレルギー疾患対策の均質化に関する研究			食物アレルギーに対する栄養・食事指導法の確立に関する研究						
	アトピー性皮膚炎発症機序の解明と皮膚バリアケアによる予防法の開発				アレルギー疾患における標準治療の普及と均質化に向けた研修プログラムの開発研究					
	アトピー性皮膚炎の診療の均質化のための大規模疫学調査と診療ガイドライン・連携資料の作成									
	重症喘息を対象としたCTLA4-Igの適応拡大を目指した医師主導治験及び非臨床研究									
	IgE抑制を標的とするアレルギー疾患治療薬の臨床研究									
	アレルギー性気管支肺真菌症の診断・治療指針確立のための調査研究				アレルギー疾患の患者および養育者の就労・就学支援を推進するための研究(リウマチについても検討開始)					
	我が国の関節リウマチ診療標準化のための研究(平成23年から)				免疫アレルギー疾患対策に関する研究基盤の構築					
	関節リウマチ及び結合織疾患患者のB型肝炎ウイルス再活性化に関する観察研究				我が国の関節リウマチ診療の標準化に関する臨床疫学研究					
	免疫疾患に対する有効な治療法の確立に関する研究				小児期あるいは成人以降の若年性特発性関節炎の全国実態調査とその臨床的検討					
主に免疫関係領域	危険因子を同定する検診制度導入によるリウマチ制圧プロジェクト									
	注) 平成27年度より、AMEDが実用化研究を実施									

平成30年9月 第1回免疫アレルギー疾患研究戦略検討会参考資料3を一部改変

## AMED研究課題 代表的な成果

診療の質向上

診療の質向上に資する研究  
(ガイドラインへの反映等)

病態解明研究  
(基礎研究等)

薬事承認

**アレルギーマーチ**

卵アレルギー予防の研究  
生後4~5カ月の時点でアトピー性皮膚炎と診断された赤ちゃん 121人

国立成育医療研究センター 齋藤博久先生

2016年 Lancet誌に世界初の報告

朝日新聞 DIGITAL

乳児期からのアトピー性皮膚炎治療による卵アレルギーの予防に成功!

**皮膚バリア構造解明**

慶應大学 天谷雅行先生

皮膚が新陳代謝しつつバリアを維持する仕組みを世界で初めて報告

**アトピー性皮膚炎**

京都大学 梶島健治先生 (2014-2016年度課題)

JTE-052外用剤 シーズ探索 ↓ 2019年1月31日 製造販売承認申請

日本経済新聞、日刊産業

表皮を標的としたアトピー性皮膚炎の治療の最適化を目指す新規薬剤の開発

**アレルギー性気道炎症**

千葉大学 中山俊憲先生・平原潔先生 (Immunity 2018)

朝日新聞

アレルギー性喘息や鼻炎の重症化を起こす、組織線維化の機序を解明

**リウマチ膠原病**

大阪大学 岡田随象先生 (Nucleic Acids Res 2018)

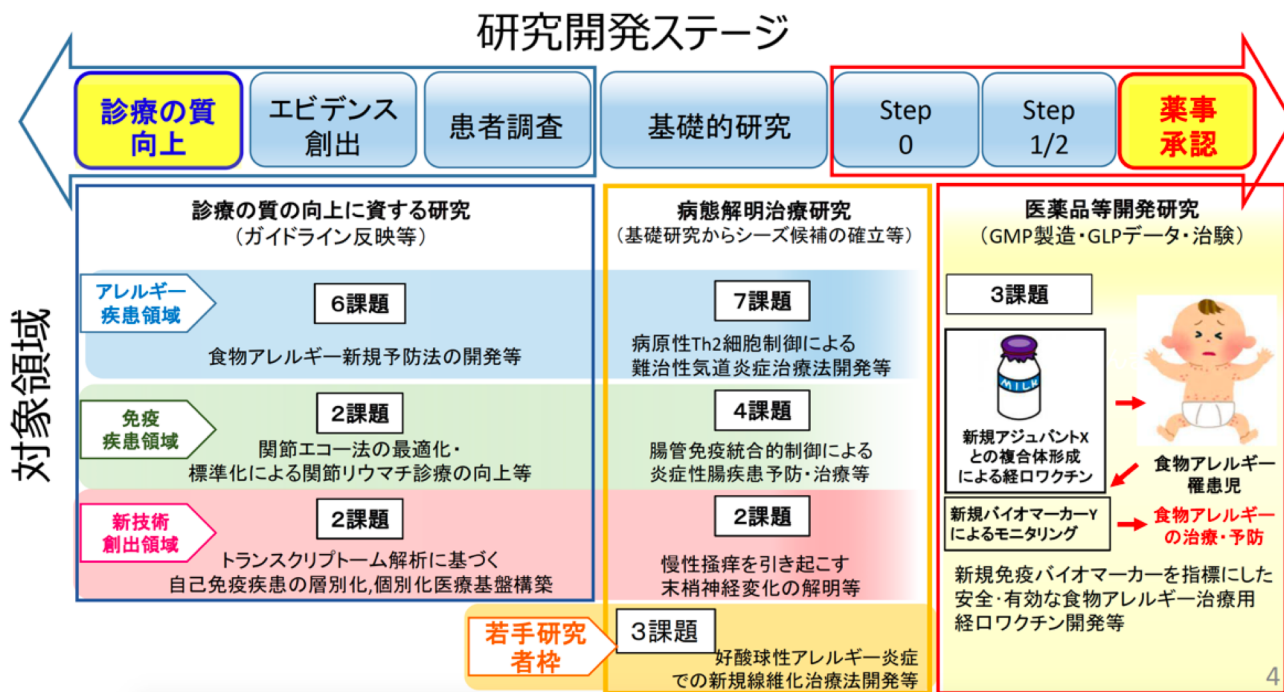
日本経済新聞、日本工業新聞

疾患ゲノム情報と組織特異的マイクロRNA発現情報の統合により、関節リウマチのバイオマーカーを同定



## 免疫アレルギー疾患実用化研究分野 2018年度 ポートフォリオ

### 対象領域×研究開発ステージによるポートフォリオ構成



### AMED研究課題と「10か年戦略」

